2008年 FLASH

平成20年

2008年の当社グループの動きを写真と年表で振り返ってみました。

開発案件等はプレスリリース日を基準に掲載しています。

2007年

12月

19日 当社・住友金属工業㈱・㈱神戸製鋼所間で、連携深化・拡大に伴い相互の株式を追加取得

当社、住友金属工業㈱、㈱神戸製鋼所は、2007年10月末に連携深化・拡大施策、および相互の株式取得について検討することに合意し、その後検討を行ってきたが、2008年12月19日に相互の株式の追加取得について合意した。

19日 新日鉄マテリアルズ㈱が排ガス浄化用新型触媒材料を開発

新日鉄マテリアルズ㈱は、当社先端技術研究所との共同開発により、貴金属の使用量を大幅に減らした新しいタイプの排ガス浄化用触媒材料を開発した。

27日 豪州ローブ・リバーJVがメサA・ワランブー鉄鉱石鉱区を開発

当社、三井物産㈱、住友金属工業㈱は、世界有数の鉱物資源会社リオ・ティント社（豪・英）と西豪州で共同運営を行う鉄鉱石事業 ローブ・リバーJVにおいて、メサA・ワランブー鉱区（埋蔵量約250百万t）での鉄鉱山開発を決定した。生産開始は2010年、最大25百万t／年の生産を予定している。

27日 BNAの溶融亜鉛めっき鋼板製造設備を能力増強

当社、宝山鋼鉄株式有限公司、アルセロールミタルは、2004年に3社合弁で上海市に設立したBNA（宝鋼新日鉄自動車鋼板有限公司）において、第3溶融亜鉛めっきライン（自動車用高級めっき鋼板生産ライン）を新設することを正式決定した。

27日 広畑製鉄所溶融亜鉛めっきラインによる自動車用GA鋼板の供給対応力を強化

当社は2006年12月に、広畑製鉄所のNo.2溶融亜鉛めっきラインを、合金化溶融亜鉛めっき鋼板（GA鋼板）・溶融亜鉛めっき鋼板兼用のラインとして稼働させた。主要な自動車メーカーの材料承認を順次取得し、2007年度下期にGA鋼板の生産規模を大幅に拡大した。

28日 八幡製鉄所条鋼工場が累計生産3,000万tを達成

八幡製鉄所条鋼工場が生産累計3,000万tを達成した。官営八幡製鉄所の第一期稼働設備として1901（明治34）年11月に操業を開始してから、107年の年月をかけての記録達成となった。

2008年

01月

5日 堺ブレイザーズが「天皇杯・皇后杯全日本選手権大会」で準優勝

神奈川県川崎市のとどろきアリーナで行われた「天皇杯・皇后杯全日本選手権大会」の決勝戦で、堺ブレイザーズが準優勝を遂げた。

16日 大分製鉄所の鉄づくりを詠まれた歌が宮中歌会始に入選

二〇〇〇度の
高炉より出で
圧延に
入りたる鋼の
なほ火炎だつ

大分製鉄所の鉄づくりの情景を詠まれた山崎美智子さん（大分市在住）の歌が、新春恒例の宮中行事「歌会始の儀」で、一般入選10首の1首に選ばれた。

16日 第18回新日鉄音楽賞が決定
フレッシュアーティスト賞にピアノの上原彩子さん、特別賞に写真家の木之下晃さんが選出された。

© 三浦興一

© 斎藤登茂枝

17日 日鉄住金建材㈱の日鉄スーパーEデッキ「EZ-1.0 mm」が登場
日鉄住金建材㈱は、同社の合成スラブ用デッキプレート「日鉄スーパーEデッキ」のラインナップに板厚1.0mmの製品を加えた。優れた構造性能を活かして耐火構造認定（国土交通大臣認定）を取得した製品で、他社に先駆け商品化に成功した。

21日 新日鉄化学㈱が産学官連携でNBC災害対策に協力
新日鉄化学㈱九州製造所は、北九州市との間で、地元企業や大学とともにNBC災害*における対策についての協力に関する協定を締結した。

＊核（Nuclear）、生物（Biological）、化学（Chemical）に起因する災害

21日 新日鉄エンジニアリング㈱がタイ・Siam Tinplate社より電気めっきラインを受注
新日鉄エンジニアリング㈱製鉄プラント事業部は、タイのブリキメーカーSiam Tinplate Co.,Ltd.（通称STP社）より、電気めっきライン（第2基）を受注した。1989年に新日鉄エンジニアリング㈱が主要機器を納入した既設第1電気めっきライン、2005年の同ラインの改造工事での対応実績、また全世界での25基（改造含む）の納入実績や価格競争などが評価され、今回の受注に至った。

24日 王子製鉄㈱の株式を追加取得
当社は王子製鉄㈱発行済株式の8.7%を追加取得した。これにより当社の株式保有比率は51.5%となり、王子製鉄は当社の連結子会社となった。

25日 新日鉄化学㈱がオルソクレゾールの生産能力を増強
新日鉄化学㈱は、旭化成ケミカルズ㈱との合弁会社である日本クレノール㈱において、オルソクレゾールの増設工事を行い、目標生産能力である1万2,000t／年レベルを達成した。

29日 新日鉄化学㈱が高耐熱透明材料「シルプラス®」のフィルム工場新設を決定

新日鉄化学㈱は、機能樹脂事業の新規商品である高耐熱透明材料「シルプラス®」の本格事業化に伴う商業生産体制構築のため、九州製造所（北九州市）にフィルム工場の新設を決定した。

31日 当社のチタン合金「Super-TIX® 51AF」がダンロップ「ザ・ゼクシオ（XXIO）」に継続採用
当社独自開発チタン合金「Super-TIX®51AF」（スーパータイエックス）が、SRIスポーツ㈱製のゴルフドライバー「ALL NEW ゼクシオ（XXIO）」に続き、「ザ・ゼクシオ（XXIO）」向けに採用された。

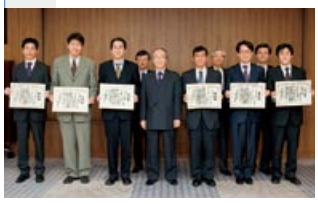
02月

4日 原油タンカー用高耐食性厚鋼板「NSGP-1」が2007年日経優秀製品・サービス賞を受賞
当社の原油タンカー用高耐食性厚鋼板「NSGP-1」が、2007年日経優秀製品・サービス賞 優秀賞 日経産業新聞賞を受賞した。「NSGP-1」は従来の鋼板に比べて約5倍の耐食性を誇り、無塗装でも高い耐食性を発揮。塗料や有機溶剤も不要で、地球環境に優しい鋼板であることが受賞につながった。

7日 近代製鉄発祥150周年記念事業 記者発表会を開催
㈳日本鉄鋼連盟による近代製鉄発祥150周年記念事業の記者発表がホテルニューオータニ（東京都千代田区）で行われ、2008年開催イベントや鉄の広報大使、150周年のシンボルキャラクターが披露された。

シンボルキャラクター「AIRA」（アイラ）

8日 38名の社員が発明改善表彰を受賞
発明改善によって当社社業に顕著な貢献をした38名の社員に、「平成19年度発明改善表彰社長賞」が授与された。



9日　堺製鉄所内で「堺泉北港広域防災拠点整備事業」の起工式を挙行

「堺泉北港広域防災拠点（耐震岸壁･臨港道路）整備事業」の起工式が、国土交通省近畿整備局、大阪府により、堺製鉄所内の建設予定地で執り行われた。同事業は物流の安定化と災害時のルート確保のため耐震強化岸壁と臨港道路を整備するもので、式典には当社関係者を含め約150人が出席した。

11日　冷間圧造用鋼線の製造・販売会社「NBCタイ」が開業

当社が松菱金属工業㈱、宮崎精鋼㈱、㈱サンユウ、豊田通商㈱、㈱メタルワン、鈴豊精鋼㈱と合弁でタイに設立した冷間圧造用鋼線の製造・販売会社「Nippon Steel Bar & Wire（Thailand）Company Limited（NBCタイ）」の開業式が、同社工場敷地内にて開催された。

15日　鋼管矢板基礎に用いる高剛性・高耐力継手を開発

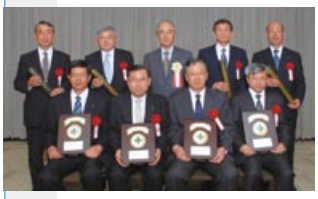
当社と㈱鹿島建設は、鋼管矢板基礎に用いる高剛性・高耐力継手「Super Junction」を共同で開発した。

15日　本社ビルで「近代製鉄発祥150周年記念ロビーコンサート」を開催

「近代製鉄発祥150年記念事業」の一環として、本社1階イベントエリアで紀尾井シンフォニエッタ東京の弦楽四重奏によるロビーコンサートを開催した。

19日　八幡、室蘭、広畑、釜石製鉄所が「鉄鋼安全表彰 優良賞」を受賞

㈳日本鉄鋼連盟主催の「第49回鉄鋼安全表彰式」において、八幡、室蘭、広畑、釜石の4製鉄所が優良賞を受賞した。



26日　新日鉄化学㈱が大分ジビニルベンゼン製造設備の能力増強を決定

新日鉄化学㈱は、イオン交換樹脂やMBS樹脂（メチルメタクリレート・ブタジエン・スチレン）などの原料として使用される機能性化学品「ジビニルベンゼン」について、生産能力の増強を決定した。

03月

1日　ニューデリー事務所を設置

当社はインドのニューデリーに海外事務所を設置し、駐在員の派遣を開始した。

5日　㈱新日鉄都市開発が新規広告を発表

㈱新日鉄都市開発は、「街づくりで環境問題に答えを出す。」をテーマとしたシリーズ広告を、日本経済新聞と雑誌『WEDGE』に出稿した。第1回目の広告は3月5日の日本経済新聞（全国版・朝刊）に掲載された。

8日　世界最大級の鉄鉱石専用輸送船「BRASIL MARU」が大分製鉄所に初入港

2007年12月7日に竣工した当社ーブラジル間を結ぶ世界最大級の鉄鉱石輸送船「BRASIL MARU（ぶらじる丸）」が初航海を終え、大分製鉄所に入港した。

11日　47キロ高強度厚鋼板が大河内記念生産賞を受賞

当社は大型コンテナ船用高強度鋼板の開発と新規船体構造設計における業績が評価され、「第54回大河内賞大河内記念生産賞」を三菱重工業㈱と共同で受賞した。

© エム・オー・エル・エフィシェンシー

12日　新日鉄エンジニアリング㈱が日新製鋼㈱呉製鉄所の熱風炉新設を受注

新日鉄エンジニアリング㈱は、双日マシナリー㈱と共同で、日新製鋼㈱呉製鉄所向け第1高炉12号熱風炉新設を受注した。

17日　NS九州スチールサービス㈱を設立

当社は、五十鈴㈱、不動鋼板工業㈱、コイルセンター国光㈱、㈱メタルワン、日鉄商事㈱との共同出資により、鋼板類の加工および販売を行う新会社「NS九州スチールサービス㈱」を八幡製鉄所構内に設立することを決定した。

17日　㈱新日鉄都市開発の「リビオ東田ヴィルコート」が環境省の CO_2 削減事業に採択

㈱新日鉄都市開発は、分譲マンション「リビオ東田ヴィルコートI街区」を、八幡東田総合開発地区（福岡県北九州市）「アーバンレジデンスゾーン」地区内に竣工した。当事業は全国で初めて環境省の補助事業に選定され、環境共生住宅を基本コンセプトとして、分譲マンション最大規模（170kW）の太陽光発電や、カーシェアリング（自動車＋自転車）などを導入し、街区単位での CO_2 削減を図っている。

19日　㈶新日鉄文化財団が「邦楽、西洋と比ぶれば『鐵』」を開催

近代製鉄発祥150周年を記念して、「鐵」をテーマとした邦楽・洋楽の公演が、㈶新日鉄文化財団の主催により紀尾井小ホール(邦楽ホール)で開催された。

26日 三村会長が日本鉄鋼協会春季講演大会で講演
武蔵工業大学(東京)で行われた「日本鉄鋼協会第155回春季講演大会」において、当社三村会長(当時社長)が「新日鉄におけるグローバル経営～技術で世界をリードする鉄鋼業へ～」と題して講演を行った。

29日 中国で「羊城友誼奨」を受賞
広州太平洋馬口鉄副総経理の宇野佳秀さんが、広州市の経済・文化発展に寄与した外国人に対して贈られる「羊城友誼奨(Guangzhou Friendship Award)」を広州市から授与された。

04月

1日 会長・社長の選任
代表取締役会長に三村明夫氏、代表取締役社長に宗岡正二氏がそれぞれ選任された。

1日 ㈱POSCOが創立40周年記念式典を開催
当社と戦略的提携契約を締結している㈱POSCOが、韓国・浦項で創立40周年記念式典を開催した。三村会長はこの式典に、ビデオメッセージによる祝辞を寄せた。

1日 君津製鉄所が2007年度累計出銑・粗鋼生産・総出荷量1,000万t超を達成
君津製鉄所は2007年度の累計出銑量・粗鋼生産量・総出荷量において、初めて3種同時に1,000万t超を達成した。出銑量と総出荷量で1,000万tを超えたのは初めてのことで、粗鋼生産量は3年連続での記録更新となった。

1日 新日鉄ソリューションズ㈱がソフトウェア開発センターを開設
新日鉄ソリューションズ㈱は、ソフトウェアの品質向上およびグローバル分散開発の推進を目指したソフトウェア開発センターを開設した。

2日～5日 米国鋼構造協会主催の鋼構造展示会に出展
当社は4月2日～5日に米国テネシー州ナッシュビルで開催された米国最大の鋼構造展示会(NASCC)に初めて出展し、当社形鋼製品(極厚H、ハイパービーム)を展示した。重点的にPRしたハイパービームの製造技術は、国際的な鉄鋼情報メディアである「Steel Business Briefing」でも紹介された。

8日 君津製鉄所で個人株主見学会を実施
君津製鉄所で個人株主見学会を実施した。全国の単元株以上保有の株主を対象とした平日の見学会開催は初めてで、当日は関東をはじめ全国各地から約200名が来訪した。

9日 新日鉄と㈱POSCOが「ビューティフル・フレンズ・コンサート」を共同で開催
当社と㈱POSCOの戦略的提携の一環として、初の音楽メセナ活動「ビューティフル・フレンズ・コンサート」が紀尾井ホールで開催された。

14日 「内部欠陥の少ない大口径炭化ケイ素(SiC)単結晶ウエハーの製造」が「日経BP技術賞」を受賞
技術開発本部先端技術研究所が開発した「内部欠陥の少ない大口径炭化ケイ素(SiC)単結晶ウエハー」が2008年日経BP技術賞を受賞した。

16日 当社とアルセロールミタルとの合意について
当社はアルセロールミタルと、米国I/N Kote社に自動車鋼板用溶融亜鉛めっきの新ラインを増設することで合意した。

23日 ブラジル イパチンガ・フットボール・クラブのスポンサーに
当社は、持分法適用会社であるブラジル・ウジミナス社とのパートナーシップの一環として、また2008年が日伯移民百周年であることから、ウジミナス社が後援するプロサッカーチーム、イパチンガ・フットボール・クラブのスポンサーとなった。

24日 新日鉄エンジニアリング㈱が中国における設備製造に関し、戦略パートナーと基本協定書を締結
新日鉄エンジニアリング㈱は、中国の中鋼集団邢台机械軋輥有限公司、大連重工・起重集団有限公司の2社と、それぞれ「設備製造に関する業務協力基本協定書」を締結した。

27日　2007年ノーベル平和賞受賞への貢献に感謝状

環境部部長の岡崎照夫さんが、ノーベル平和賞を受賞した国連の「気候変動に関する政府間パネル（IPCC）」から感謝状を贈呈された。岡崎さんは産業界の立場から、温室効果ガスの緩和策に関する評価に携わったことが評価されての受賞となった。

05月

1日　新日鉄の廃プラスチックリサイクルが累計100万t達成

当社が2000年秋より取り組んできた廃プラスチックリサイクルが、累計100万tを達成した。今回の100万t達成による効果は約320万t分のCO_2削減に相当する。

7日　豪州カルボロダウンズ炭鉱での生産能力の拡張に合意

当社と当社の豪州子会社である新日鉄オーストラリア社は、資源大手のヴァーレ社などとの間で、豪州のカルボロダウンズ炭鉱において、大型採炭設備の導入などによる坑内掘り生産能力の拡張を行うことに合意した。

12日　当社のチタン薄板が世界で初めてビデオカメラの外装として採用

当社のチタン薄板が、世界で初めて民生用ビデオカメラ・ソニー製デジタルHDビデオカメラレコーダー“ハンディカム”の新商品「HDR-TG1」の外装に採用された。

16日　『新日鉄技報』をリニューアル発行

技術開発本部は『新日鉄技報』をリニューアル発行（第388号、耐火物技術特集）した。解説や新技術・新製品紹介などを加えて記事を充実させたほか、文字・図表の拡大やカラー化などにより、よりわかりやすいレイアウトとなった。

16日　「中国・四川大地震」被害へ義援金を寄付

5月12日に中国・四川省で発生した大地震で被災された地域の復興のため、当社は義援金2,000万円を、㈳日本経済団体連合会を通じて日本赤十字社に寄付した。

21日　皇后陛下が紀尾井ホールにご臨席

紀尾井ホールで行われた「別府アルゲリッチ音楽祭 第10回記念公演 in 東京 室内楽コンサート」に皇后陛下がご臨席された。

23日　君津製鉄所が累計粗鋼生産量3億tを達成

君津製鉄所が累計粗鋼生産量3億tを達成した。1968年12月の第一製鋼工場（当時は転炉工場）の稼働開始から39年6カ月での達成で、粗鋼生産量3億tは、当社では八幡製鉄所に次いで2番目、国内では3番目となった。

23日～26日　「環境フェア in 神戸」に出展

当社は兵庫県神戸市中央体育館にて開催された「環境フェア in KOBE」に出展した。この環境フェアは、北海道洞爺湖サミットに向けたG8環境大臣会合に伴う公式行事として行われたもので、当社は世界最高水準の技術開発力を基盤とした、地球温暖化防止・環境保全への貢献などさまざまな取り組みをPRした。

26日　㈱新日鉄都市開発がハイブリッド環境住宅「TERA（テラ）」を発表

㈱新日鉄都市開発は、環境設計に省エネルギー設備を加えたハイブリッド環境住宅「TERA（テラ）」を開発、神奈川県川崎市の「さくらが丘Isaac日吉」（総戸数345戸）に分譲が決定した。

26日　新日鉄マテリアルズ㈱が本社移転

新日鉄マテリアルズ㈱が東京都千代田区の秋葉原UDXビルに本社を移転した。

27日　皇太子殿下が紀尾井ホールにご臨席

紀尾井ホールで27日に行われた「ヴィオラスペース2008 vol.17」と、30日に行われた「2008年日伯交流年記念 アントニオ・メネセス チェロ・リサイタル」に、皇太子殿下がご臨席された。

27日 新日鉄ソリューションズ㈱が㈱金融エンジニアリング・グループの買収を決議
新日鉄ソリューションズ㈱は、㈱金融エンジニアリング・グループの全株式をニイウスコー㈱から取得し、子会社とすることを決議した。

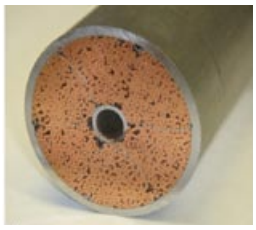
29日 ㈱ニッタイの水圧試験の不備について
当社の関連会社である㈱ニッタイが、同社の野田工場において生産している溶接ステンレス鋼管およびチタン溶接管について、規格・契約などに定められた水圧試験を実施していないことが判明した。当社はお客様や関係者の方々に多大なるご迷惑とご心配をおかけしたことをお詫びするとともに、お客様からの信頼回復と再発防止に向けて全力を尽くしていくことを誓った。

30日 次世代コークス製造技術を導入した大分製鉄所第5コークス炉が竣工
世界初の次世代コークス製造技術「SCOPE21」を導入したコークス炉（第5コークス炉）が大分製鉄所で竣工した。コークス品質の向上とコークス製造時間の短縮などを実現し、低品位原料炭の利用拡大や大幅な省エネルギー効果などが期待できる。

06月

2日 新日鉄ソリューションズ㈱が仮想化技術を用いたITインフラ最適化ソリューションを共同で提供開始
新日鉄ソリューションズ㈱は、日本オラクル㈱、デル㈱と共同で、ITコスト削減、運用効率の向上、変化への対応力強化など、お客様の課題解決に向けて、仮想化技術を用いたITインフラ最適化ソリューションの提供を開始した。

2日 新日鉄エンジニアリング㈱が「超伝導コイル用導体」を受注
新日鉄エンジニアリング㈱は、独立行政法人日本原子力研究開発機構より、「超伝導コイル用導体」を受注した。

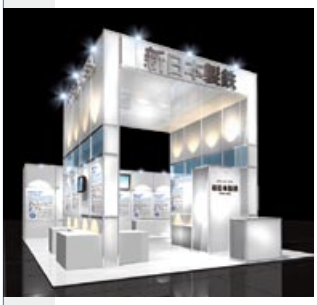


6日 新日鉄住金ステンレス㈱が世界初のステンレス製エアコン接続用配管の商品開発に成功
新日鉄住金ステンレス㈱は、独自のフェライト系ステンレス鋼「NSSC PDX」の特長を活かしたエアコン接続用配管の商品開発に成功した。

17日 「コンパクト型ハイドロフォーミング設備の開発」で平成20年度全国発明表彰「発明賞」を受賞
当社の「コンパクト型ハイドロフォーミング設備の開発」が、平成20年度全国発明表彰「発明賞」を受賞した。今回はトヨタ自動車㈱と共同で、鋼管の液圧加工（ハイドロフォーミング）設備を大幅にコンパクト化することに成功したことが高く評価された。

19日 君津製鉄所のRHFが本格稼働
鉄ダスト系副産物のリサイクルで世界最大の能力（31万t／年）を有する回転炉床式還元炉（Rotary Hearth Furnace、RHF）が、君津製鉄所で本格稼働した。

19日～21日 「北海道環境総合展2008」に出展
当社は札幌ドーム（北海道札幌市）で開催された北海道洞爺湖サミット記念「北海道環境総合展2008」に出展し、世界最高水準の技術開発力を基盤にした、当社の地球温暖化防止に向けた活動をPRした。



26日 新日鉄ソリューションズ㈱が㈱資生堂の新マーケティング・システムを構築
新日鉄ソリューションズ㈱は、㈱資生堂の新マーケティング・システムを構築し、6月から国内化粧品事業において全面稼働を開始した。同システムでは、リアルタイムで売上・損益・在庫などの経営情報が把握可能となり、ビジネスのスピードアップにつながった。

07月

1日 ㈱スーパーフレーム北海道が設立される
当社のニッテツスーパーフレーム®工法の北海道事業拠点となる㈱スーパーフレーム北海道が、㈱上村オール建材、㈲山栄デザイン、日鉄商事㈱、北海鋼機㈱4社の共同出資により設立された。

1日 ホームページを全面更新
当社HPを全面更新した。研究開発や環境への取り組みなどの情報を充実させたほか、製品カタログのPDF掲載数を増やし、多言語対応化も図った。

4日 「岩手・宮城内陸地震」被害へ義援金を寄付
当社は6月14日に発生した岩手・宮城内陸地震で被災された地域の早期復興を願い、岩手県および宮城県に義援金300万円を寄付した。

9日 ウジミナス社がサンタナ・ド・パライゾ地区に3番目の製鉄所を建設
当社の南米におけるアライアンスパートナーであり、持分法適用関連会社であるブラジル・ウジミナス社は、ブラジル国内鉄鋼需要のさらなる拡大、自社による鉄鉱山の買収などの状況変化を反映し、同社イパチンガ製鉄所に近接するサンタナ・ド・パライゾ地区に500万t／年の鉄源製鉄所を建設することを決定した。

9日 宗岡社長（日本鉄鋼連盟会長）が北海道洞爺湖サミット（G8）の合意内容についてコメント
北海道洞爺湖サミット（G8）の合意内容について、宗岡社長が㈳日本鉄鋼連盟を代表して、鉄鋼業界として政府とともに引き続き地球温暖化対策を強力に推進していくとのコメントを出した。

9日 君津製鉄所が累計出銑量3億tを達成
君津製鉄所の出銑累計生産量が3億tを達成した。1968年11月の第1高炉の初出銑から39年9カ月での記録達成であり、当社の製鉄所としては初の3億t達成となった。

10日 ㈱新日鉄都市開発と新日鉄住金ステンレス㈱提案の共同住宅が国土交通省200年住宅モデル事業に採択
㈱新日鉄都市開発と新日鉄住金ステンレス㈱が提案した共同住宅「(仮称)グランリビオ高見弐番館」が、国土交通省「平成20年度 第1回超長期住宅先導的モデル事業」に選定された。

11日 過去最大規模の「NSF工法連絡会」を開催
当社薄板事業部住宅建材開発グループは、ニッテツスーパーフレーム®工法の普及拡大に向けて、工法契約者を対象とした過去最大規模の「第7回NSF工法連絡会」を本社ビルで開催した。

26日・27日 近代製鉄発祥150周年記念イベント「鉄の星フェスティバル」を開催

㈳日本鉄鋼連盟による近代製鉄発祥150周年記念事業のメインイベント「鉄の星フェスティバル」が東京港区の六本木ヒルズアリーナで開催され、同事業広報大使の石井竜也氏による鉄鋼イメージソングの発表ライブや、米村でんじろう氏による鉄のサイエンスショーなどが披露され、2日間で約2万3,000人が訪れ大盛況だった。

29日 八幡製鉄所で火災発生
八幡製鉄所の石炭運送用ベルトコンベアーおよびコークスガス配管で火災が発生し、8月5日に鎮火した。当社は地域、お客様やその他関係者の皆様に多大なるご心配をおかけしたことをお詫びするとともに、復旧に向けて全力を傾注した結果、9月22日に第4コークス炉、12月12日に第5コークス炉が再稼働した。

31日 西豪州鉄鉱石ローブ・リバーJVの出荷能力を拡張
当社と当社子会社の新日鉄オーストラリア社は、資源大手リオ・ティント・グループなどと西豪州で共同運営する鉄鉱石事業 ローブ・リバーJVにおいて、鉄鉱石積み出し港であるケープランバート港の出荷能力を1億t増加し、180百万t／年まで拡張する計画の実行に向け、能力拡張に必要となる資機材の先行発注などのための投資を行うことを決定した。

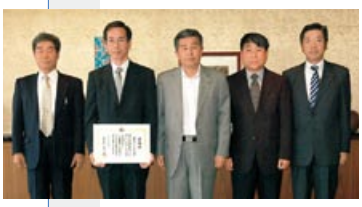
08月

5日　世界最大級の鉄鉱石専用輸送船「TUBARAO MARU」が竣工

当社のブラジル鉄鉱石を輸送する鉄鉱石専用船「TUBARAO MARU（つばろん丸）」（32万t）が竣工した。

5日　日鉄環境プラントサービス㈱が東海市優良工事表彰を受賞

日鉄環境プラントサービス㈱が「灰溶融炉整備工事」に関して、優秀な施工成績を収めた建設業者に贈られる「優良工事表彰」を東海市から受賞した。



5日・6日　教員民間企業研修を実施

㈶経済広報センターが主催する「教員民間企業研修」が名古屋製鉄所で実施された。また11・12日には室蘭製鉄所でも実施された。

6日　「ニッテツスーパーフレーム®工法」が国土交通大臣認定を取得

当社のニッテツスーパーフレーム®工法が、「1～3階建て、軒高9m以下、建物高さ13m以下、共同住宅・戸建住宅・寄宿舎」を対象とした「建築基準法施行規則第1条の3第一項による図書省略の国土交通大臣認定」を取得した。

8日～24日　植田辰哉監督率いる全日本男子バレーボールチームが2008年北京オリンピックに出場

堺ブレイザーズに所属する朝長孝介選手と石島雄介選手が、日本代表選手として出場した。

©フォート・キシモト

9日　鈴木金属工業㈱が「地域社会貢献賞（SUZUKI AWARD）」を創設

2008年に創立70周年を迎えた鈴木金属工業㈱は、地域との連携を深め、ボランティア活動支援の一助とするため、「地域社会貢献賞（SUZUKI AWARD）」を創設した。

12日　ケッペルフェルス社より感謝状

当社は世界最大の大型石油・天然ガス掘削装置メーカーのケッペルフェルス社（Keppel FELS Limited（事業会社はKeppel Offshore & Marine Limited））より、長年にわたる高級厚板の安定供給に対し、感謝状と記念品を授与された。

18日　第18回新日鉄音楽賞　贈呈式・受賞記念コンサート

紀尾井ホールで「第18回新日鉄音楽賞」の贈呈式と受賞記念コンサートが行われた。

「フレッシュアーティスト賞」ピアニスト・上原彩子さん（左）と「特別賞」写真家・木之下晃さん

20日　新日鉄エンジニアリング㈱が産廃処理に関する「電子マニフェスト」普及率　政府目標を早期達成

新日鉄エンジニアリング㈱は、2008年7月末時点において産業廃棄物管理票の電子化率を89％まで高め、2010年度末大規模排出事業者の「電子マニフェスト」普及率80％の政府目標を3年弱前倒しで達成した。

27日　サイアム・ユナイテッド・スティールがタイ総理大臣賞およびエネルギー賞を受賞

当社が筆頭株主として出資しているタイの冷延鋼板メーカー、サイアム・ユナイテッド・スティールが、タイの2008年度総理大臣賞（環境保全部門）ならびにエネルギー賞を受賞した。

29日　当社と㈱POSCOが還元鉄供給と乾式ダストリサイクルの合弁工場を起工

当社と㈱POSCOは、POSCOの浦項製鉄所で還元鉄の供給と乾式ダストリサイクルに関する合弁工場の起工式を行った。

09月

2日　広畑製鉄所硬式野球部が都市対抗野球大会に出場

東京ドームで行われた第79回都市対抗野球大会に、姫路市代表として広畑製鉄所硬式野球部が出場したが、惜しくも1回戦で敗れた。

3日　浅草寺本堂に新日鉄のチタンが採用

当社チタン事業部は、浅草寺（東京都台東区）本堂の屋根用としてチタン15ｔ（約3,100㎡）を受注した。チタン本瓦葺きは浅草寺宝蔵門に続き、本堂でも採用されることとなった。

5日　28名の社員が戦略特許発明金賞を受賞

当社の技術先進性の拡大に寄与する戦略特許発明の出願に貢献した、8技術分野、28名の社員に平成20年度戦略特許発明金賞が授与された。

11日　新日鉄エンジニアリング㈱が岩手沿岸南部クリーンセンター整備運営事業を受注

新日鉄エンジニアリング㈱は、日鉄環境プラントサービス㈱と入札グループを構成し、岩手沿岸南部広域環境組合より、岩手沿岸南部クリーンセンター整備運営事業を受注した。

11日　新日鉄住金ステンレス㈱のステンレス異形鉄筋が東長寺・五重塔の基礎に採用

新日鉄住金ステンレス㈱のクロム系ステンレス異形鉄筋（NSSD®410）が、東長寺（福岡県福岡市博多区）の境内に建設予定の五重塔の基礎に採用されることになった。

11日～14日　名古屋製鉄所が「メッセナゴヤ2008 ～環境チャレンジの祭典～」に出展

名古屋製鉄所は、名古屋港金城埠頭ポートメッセなごやで開催された「メッセナゴヤ2008 ～環境チャレンジの祭典～」に出展し、環境・省エネルギー・リサイクルなどに貢献する当社の取り組みを、3つのエコ（エコプロセス、エコプロダクツ®、エコソリューション）として紹介した。

12日　新日鉄グループ第4回ものづくり現場力向上JK大会開催

本社にて第4回全社JK大会が開催され、直、協、グループ会社から選ばれた代表13サークルが発表を行った。

18日　新日鉄エンジニアリング㈱が台湾・CSC社とイタリア・ILVA社向けステーブクーラーを連続受注

新日鉄エンジニアリング㈱は、台湾・中国鋼鉄社（CSC）向け第3高炉用ステーブクーラーおよびイタリア・ILVA社向け第1高炉用ステーブクーラーの国際入札に参加し、2件連続で受注した。

26日　八幡製鉄所関連施設が近代化産業遺産群の世界文化遺産・暫定一覧表に登録

文化庁文化審議会において、九州・山口の6県・11市が共同で提案していた、八幡製鉄所関連施設を含む「九州・山口の近代化産業遺産群」が世界文化遺産・暫定一覧表に登録されることが決定した。今後5～6年程度かけて世界文化遺産への登録が審議される。

27日　北九州イノベーションギャラリーが企画展「鉄が拓いた技術」を開催

近代製鉄発祥150周年記念事業の連携イベントとして、北九州イノベーションギャラリーが企画展「鉄が拓いた技術　時代のニーズを先取りした『鉄』のイノベーション」（9月27日～12月7日）を開催した。

30日　国民体育大会で優勝

当社柔道部の西山将士選手が「第63回国民体育大会柔道競技」に東京都代表として出場し、東京都チームは2年ぶり11度目の優勝を果たした。

30日　当社とトピー工業㈱が相互提携を一層強化

当社とトピー工業㈱は、両社の競争力強化と企業価値向上のため、相互提携を一層強化し、当社はトピー工業㈱の株式を持分法適用会社となる議決権比率20%まで、トピー工業㈱も当社の株を一定規模取得することとなった。

10月

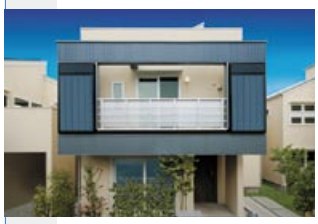
1日 当社と住友商事㈱による三井鉱山㈱B種優先株式の普通株式への転換と持分法適用関連会社化について

当社と住友商事㈱は、保有する三井鉱山㈱のB種優先株式について、普通株式を対価とする取得請求権をすべて行使した。これにより当社と住友商事㈱の三井鉱山㈱に対する議決権比率は各社21.78%に向上し、三井鉱山㈱は両社の持分法適用関連会社となった。

2日 ㈱神戸製鋼所と製鉄ダスト系副産物のリサイクル、還元鉄生産・利用に関する共同出資会社を設立

当社と㈱神戸製鋼所は、製鉄ダスト系副産物のリサイクルおよび還元鉄の生産・利用に関する共同出資会社「日鉄神鋼メタルリファイン㈱」を当社広畑製鉄所構内に設立した。

8日 ㈱新日鉄都市開発のハイブリッド環境住宅「TERA〈テラ〉」が2008年度グッドデザイン賞を受賞



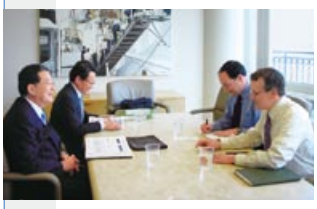
㈱新日鉄都市開発が開発した、環境設計に省エネルギー設備を加えたハイブリッド環境住宅「TERA（テラ）」が、㈶日本産業デザイン振興会主催の「2008年度グッドデザイン賞（建築・環境デザイン部門）」を受賞した。

8日～10日 「第8回産学連携フェア」に出展

八幡製鉄所は、北九州市市政45周年記念として企画された「第8回産学連携フェア」の特別企画「自動車技術展」に出展し、衝突安全性と燃費向上を実現するハイテンやホットプレス、環境に優しい燃料タンク素材、電磁鋼板、ステンレス鋼板などを紹介した。

9日・10日 宗岡社長が米国で大手機関投資家とIRミーティング

宗岡社長は、米国のニューヨークとボストンで大手機関投資家とIRミーティングを行い、当社の中長期戦略、将来展望などを説明した。



15日 豪州フォード向け鋼板100万t納入記念式典を開催

豪州・メルボルンにて、豪州フォード向け当社鋼板の納入累計100万tを記念する式典が開催された。式典には当社関係者約100名が出席し、三村会長がスピーチを行った。

15日 広畑製鉄所硬式野球部が日本選手権大会に出場

広畑製鉄所硬式野球部は、第35回社会人野球日本選手権大会に13年ぶり8度目の出場を果たした。本大会では、2回戦で惜しくも延長戦の末に敗れた。

17日 日韓企業連合がブラジルCSN社と鉄鉱石権益買収で基本合意

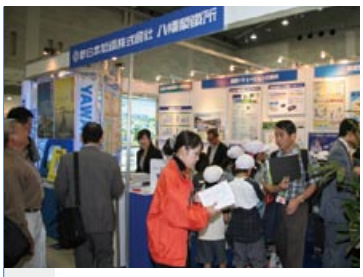
当社と、他高炉メーカー、伊藤忠商事㈱、㈱POSCOは共同で、ブラジル鉄鋼大手CSNの100%子会社の鉄鉱石生産・販売会社であるブラジルNAMISAに資本参加し、同社株式の40%を取得することをCSNと基本合意した。

20日 鉄鋼研究所籔本主幹研究員が「IEC1906賞」を受賞

技術開発本部鉄鋼研究所鋼材第一研究部の籔本政男さんが、経済産業省日本工業標準調査会（JISC）の2008年「IEC1906賞」を受賞した。

22日～24日 「エコ・テクノ2008」に出展

八幡製鉄所は、新日鉄エンジニアリング㈱、㈱九州テクノリサーチ、西日本ペットボトルリサイクル㈱とともに、西日本総合展示場（福岡県福岡市）で開催された「エコ・テクノ2008」に出展し、循環型社会構築への参画や環境ソリューションなどをPRした。



23日 ㈱日鉄エレックスの独身寮をニッテツスーパーフレーム®工法で建設

当社のニッテツスーパーフレーム®工法（NSF工法）を採用した㈱日鉄エレックスの独身寮が、千葉県富津市で完成した。短工期を可能とするNSF工法と、㈱日鉄エレックス独自の防犯セキュリティ、寮管理システムやエネルギー管理システムなどのソリューション技術のコラボレーションが実現した。

24日 新日鉄ソリューションズ㈱の「absonne」が㈱ワイズマンの医療・福祉・介護向けASPサービスに採用

新日鉄ソリューションズ㈱は、㈱ワイズマンの第4次ASPサービスを、同社のユーティリティサービス「absonne（アブソンヌ）」※にて構築し稼働することでワイズマンと合意した。

※ absonne（アブソンヌ）：
新日鉄ソリューションズがITインフラをまとめて提供・運用する、クラウドコンピューティングITシステム

25日　光鋼管部電縫鋼管工場が創業50周年

光鋼管部電縫鋼管工場が、創業50周年を記念して工場見学会と記念式典を開催した。

28日　㈱POSCOのベトナム新冷延ミルへの参画について共同検討を開始

当社は㈱POSCOとの戦略的提携の深化・拡大施策の一つとして、㈱POSCOのベトナム新冷延ミル（建設中）への参画に関する具体的な内容について共同検討を開始した。

28日　名古屋製鉄所の第2コークス炉乾式消火設備（2CDQ）が稼働

名古屋製鉄所の第2コークス炉乾式消火設備（2CDQ）が稼働。竣工式は12月17日に行われた。

29日　不動産管理・開発事業の一部を㈱新日鉄都市開発へ承継

当社と㈱新日鉄都市開発は、当社が本社および光鋼管部において行っている不動産の管理・開発事業の一部を㈱新日鉄都市開発に承継させることとした。

11月

5日・6日　㈱日鉄エレックスが展示会「NS-ELEX Exhibition」を開催

㈱日鉄エレックスがビジョンセンター秋葉原（東京都・千代田区）で展示会「NS-ELEX Exhibition」を開催し、実演を交えたソリューション事例の紹介と、同社の取り組みに関するセミナーを実施した。

6日　中国・華東地区のコイルセンターの連携・統合施策について

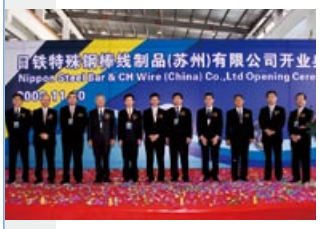
当社、㈱メタルワン、日鉄商事㈱は、中国・華東地区における傘下コイルセンターである上海嘉日鋼板製品有限公司と蘇州日鉄金属製品有限公司について、両コイルセンターの会社統合時の出資持分比率につき基本合意するとともに、統合に向けての両コイルセンターへの出資持分比率の統一について合意した。

7日　陳錦華・前中国政治協商会議副主席が本社を訪問

2008年秋の叙勲で旭日大綬章を受章し、親授式出席のため来日した陳錦華・前中国政治協商会議副主席は、謝企華・前宝山鋼鉄董事長とともに、三村会長、宗岡社長のもとを訪れ面談した。

10日　日鉄特殊鋼棒線製品（蘇州）有限公司が開業式を開催

当社が、松菱金属工業㈱、宮崎精鋼㈱、㈱サンユウ、豊田通商㈱、㈱メタルワン、日鉄商事㈱と合弁で中国・蘇州工業園区に設立した冷間圧造用鋼線の製造・販売会社、日鉄特殊鋼棒線製品（蘇州）有限公司（NBC中国）の開業式が、同社工場にて開催された。



11日　日鉄住金鋼板㈱の独禁法違反での刑事告発について

当社の子会社である日鉄住金鋼板㈱が、公正取引委員会より、鋼板製品の一部の営業に関わる独占禁止法違反で刑事告発された。当社は親会社としてこの事実を極めて厳粛に受け止め、今後当社グループとして、信頼回復と再発防止に全力で取り組んでいくことを誓った。

14日　MORUE（モルエ）中島ショッピングセンターが平成20年度土地活用モデル大賞を受賞

㈱新日鉄都市開発が開発を手掛けた商業施設「MORUE（モルエ）中島ショッピングセンター」（北海道室蘭市）が、平成20年度土地活用モデル大賞〈都市みらい推進機構理事長賞〉を受賞した。

15日・16日　川崎市民ミュージアムで「たたら製鉄実験」を開催

㈳日本鉄鋼連盟と㈶日本科学技術振興財団（科学技術館）主催による「たたら製鉄実験」が神奈川県川崎市市民ミュージアムで行われた。親子40名のほか、宗岡社長や広報大使の石井竜也氏も参加した。

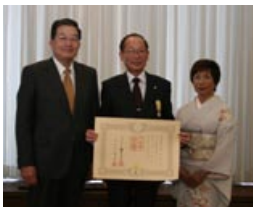
16日　講道館杯全日本柔道体重別選手権大会で優勝

当社柔道部の西山将士選手が、千葉ポートアリーナで行われた「平成20年度講道館杯全日本柔道体重別選手権大会」に出場し、90kg級で優勝した。

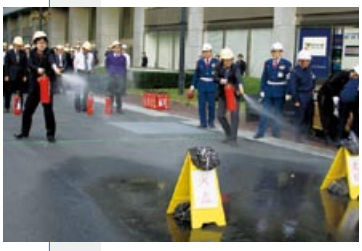
17日　超大型鉄鉱石船「つばろん丸」が君津製鉄所に初入港

ブラジル－日本間で当社の鉄鉱石を運搬する30万t超級の超大型船「つばろん丸（TUBARAO MARU）」が君津製鉄所に初入港し、記念式典が行われた。

19日 「黄綬褒章」受章
広畑製鉄所錫メッキ工場冷延課の船引泰洋さんが、秋の叙勲で「黄綬褒章」を受章した。



19日 本社で避難訓練・帰宅訓練を実施
東京湾北部で震度6の大規模地震が発生したことを想定し、本社で避難訓練・帰宅訓練を実施した。



25日 釜石市立資料館「鉄の歴史館」に寄付
当社は岩手県釜石市にある市立資料館「鉄の歴史館」に、同館リニューアル資金の一部として、1,000万円を寄付した。

25日 新日鉄エンジニアリング㈱がブラジル・ウニガル社向け亜鉛めっき鋼板製造ライン（CGL）を受注
新日鉄エンジニアリング㈱製鉄プラント事業部は、2008年8月、ブラジルの亜鉛めっき鋼板メーカーUNIGAL Ltda.（通称ウニガル社）より、第2基目となる自動車用の亜鉛めっき鋼板製造ライン（CGL）を受注した。

12月

1日 近代製鉄発祥150周年記念事業 講演会・式典・パーティを開催
近代製鉄発祥150周年記念事業を締めくくる記念講演会、記念式典、パーティが帝国ホテルで行われ、宗岡日本鉄鋼連盟会長、麻生総理大臣、二階経済産業大臣、御手洗経団連会長はじめ大学、鉄鋼業界の関係者が多数出席した。

3日 新日鉄エンジニアリング㈱がアンボンドブレースの販売に関し基本協定を締結
新日鉄エンジニアリング㈱と岡部㈱は、アンボンドブレースの販売に関して基本協定を締結し、岡部㈱の得意分野である中小企業向け鉄骨構造向けの耐震部材として販売するため共同開発を実施し、製品名「B−UP（ビーアップ）ブレース」として12月4日より販売を開始した。

4日 I／N Kote新ラインの建設延期について
当社はアルセロールミタルとの米国における合弁事業であるI/N Koteにおいて、自動車用溶融亜鉛めっき鋼板の新ライン建設を一部開始していたが、現下の北米自動車市場の急激な縮小を受け、北米の自動車生産が回復する見通しを得るまで建設を延期することで合意した。

5日 南アフリカにおける鋼板製造事業会社への出資について
当社と伊藤忠丸紅鉄鋼㈱は、両社と長年の取引関係を有するSAFALグループからの要請を受け、南アフリカで工場建設中の鋼板製造事業会社SAFAL STEELによる第三者割当増資を引き受け、同社議決権の7％を各々取得することについて、SAFALグループと合意した。

9日 日鉄住金建材㈱の社宅を「ニッテツスーパーフレーム®工法」で建設
当社が展開する住宅工法「ニッテツスーパーフレーム®工法」を採用した日鉄住金建材㈱の社宅が、神奈川県川崎市で完成した。

11日 第19回新日鉄音楽賞が決定
フレッシュアーティスト賞に弦楽四重奏のクァルテット・エクセルシオ、特別賞に東京交響楽団理事・最高顧問の金山茂人さんが選出された。

©N.Ikegami

11日〜13日 「エコプロダクツ2008」に出展
当社は東京ビッグサイト（有明）で開催された日本最大級の環境展示会「エコプロダクツ2008」に出展し、地球環境問題に貢献する「エコプロセス」「エコプロダクツ®」「エコソリューション」の3つの当社の取り組みと、近代製鉄発祥150周年を紹介した。

11日 学習絵本新刊『青い地球の新・モノ語り』を発行
当社の長年にわたる省エネルギーや地球環境問題への取り組みを紹介した学習絵本『青い地球の新・モノ語り』を発行した（シリーズ第八巻）。

25日 当社グループによる弁ばね用ワイヤ事業のグローバル展開
当社の特殊線材事業における中核二次加工メーカーである鈴木金属工業㈱（以下鈴木金属）は、スウェーデン王国・Haldex Garphyttan ABの買収を行い、当社は本買収資金の一部として鈴木金属が実施する第三者割当増資を引き受けることとした。これにより鈴木金属は当社の連結子会社となる予定。また、鈴木金属は世界最大の弁ばね用ワイヤメーカーとしてグローバルな事業展開およびさらなる技術力向上、競争力確保を図り、利益成長の実現を目指していく。